

取扱説明書

保証書別添付

家庭用

日立浅深両用ポンプ

型式

〔单相〕 シーティー ピー CT-P150X エックス

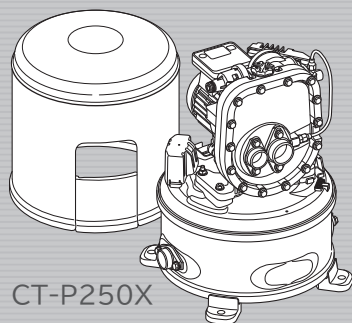
CT-P250X

CT-P400X

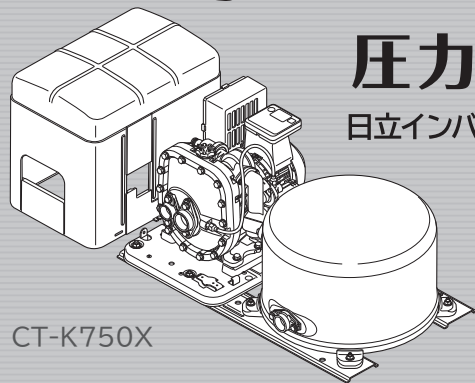
CT-P600X

〔3相〕 シーティー ケー CT-K250X エックス

CT-K750X



CT-P250X



CT-K750X

浅深両用

つよし

圧力強くん

日立インバーターポンプ

このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読み
になり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切
に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.2~4)をお読み
いただき、正しくご使用ください。

- 据え付けは専門工事が必要です。
販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わ
ないでください。
- ご購入のポンプの型式確認は、ポンプ本体の
表示をご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部のなまえ	6
操作コントローラーのはたらき	8
操作コントローラーの表示について	8

据え付け工事について [販売店様・工事店様用]

据え付け前の確認	9
井戸の砂について	9
吸上高さの確認	9
押上高さの確認	10
電源の確認	10
据え付け場所の確認	10
ほかの機器との組合せについて	10
据え付け前のご注意	11
配管工事について	12
新規に接続の場合	12
配管の互換性について	12
ジェットの互換性について	12
ポンプと配管の接続	13
配管の施工の基礎	14
据え付け方法	15
配線工事について	20
アース線の接続と漏電遮断器について	20
電源電線について	20
試運転	21
試運転のしかた	21
運転状態の確認	21
運転のしかた	22
運転モードについて	22
運転モードの切り替えかた	23
運転圧力の切り替えかた	23
除菌器の接続について	24
結線について	24
カルキ量の調整について	24
防寒について	24
凍結防止策	24

こんなときは

お困りのときは	25
操作コントローラーにこんな表示が出たら	25
漏水を確認するときは(漏水チェック機能)	27
圧力タンク内の水を抜くときは	27
消耗部品について	27
保証とアフターサービス	28

仕様

仕様	30
製品寸法	30

安全上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ここに示した注記事項は





表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

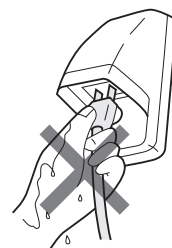
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

電源プラグや電源電線は

-  ●電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。
-  ●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふく
火災の原因になります。
-  ●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る
感電やけがの原因になります。
-  ●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。
- 傷んだ電源電線や電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで差し込む
感電やショートして発火することがあります。
- 電源電線を傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・たばねるなどしない〕
電源電線が破損し、発煙・発火の原因になります。
- テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。
- 延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。
- 子どもだけで使わせない
- 電源プラグ、電源コードを水につけたり、水をかけたりしない
- 電源プラグを水につけた場合は使用しない
漏電や感電、故障の原因になります。



警告

配線・アース線は



配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に従って、安全に行う

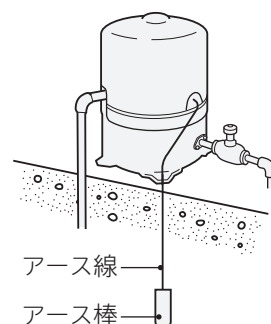
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



アース線を取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。

アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。



その他



ポンプを水道管に直接配管しない

この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。



動かなくなったり、煙が出ている、変なおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切って、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



分解したり、修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)



●ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない

過熱による発煙・発火の原因になります。

●ポンプカバーを外したまま使用しない

雨やほこりにより絶縁劣化して、感電や火災の恐れがあります。

※ポンプカバーを取り付ける際は、電源電線およびアース線を

挟み込んで傷つけないように注意してください。

●製品が包装されているビニール袋をかぶらない

窒息の恐れがあります。

本体の近くには



●引火物の近くには設置しない〔ガスボンベ・灯油・ガソリントankなど〕

爆発や火災の恐れがあります。

●可燃物の上には設置しない〔木材・段ボールなど〕

火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近付けない

火災の恐れがあります。

●ポンプ本体には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない

誤動作することがあります。

安全上のご注意 (続き)

⚠ 注意

運転前後、運転中は

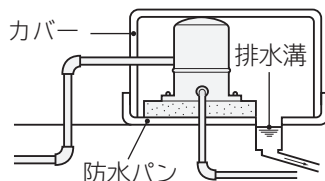


- モーター、コントローラーに触れない
高温になっていますので、やけどの原因になります。
- 空運転(水源に水のない状態での運転)はしない
ポンプ内の水が熱湯になり、やけど、故障の原因になります。
- コンセントを抜いた状態でも、操作コントローラーの表示が消えるまで
コントローラーには触れない
感電の原因になります。

その他



- ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない
変形、脱落により、けがをする恐れがあります。
- 防水処理、排水処理されていない床面に設置しない
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。
※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲が水浸しになり、
大きな補償問題になる場合があります。



- 清水以外の液体や温水(40℃以上)には使用しない
破損により、けがや感電の恐れがあります。
 - 標高の高い場所には設置しない
揚水量低下の恐れがあります。
 - 発電機での電源供給や、車両、船舶での使用はしない
電力が安定せずに、正常なポンプの運転ができません。
 - 他社の除菌器は結線、接続しない
ポンプコントローラー故障の原因になります。
 - 汎用インバータと接続しない
故障の原因になります。
-
- 製品の取り扱い時は、手袋をして作業を行う
けが防止のためです。
 - 据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
 - 飲用水として使用する場合は、水質検査を実施する
飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき水質検査を実施してください。
水質によっては健康を損なう原因となります。
 - 本体を運搬するときは、本体底面を持って2人以上で運ぶ
けが防止のためです。
 - コントローラーや圧力センサーなどをつかんだり、本体を引きずって運ばない
故障の原因になります。

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

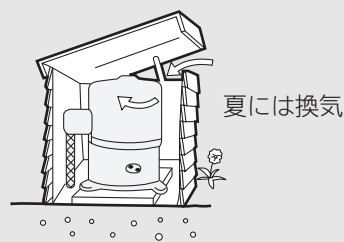
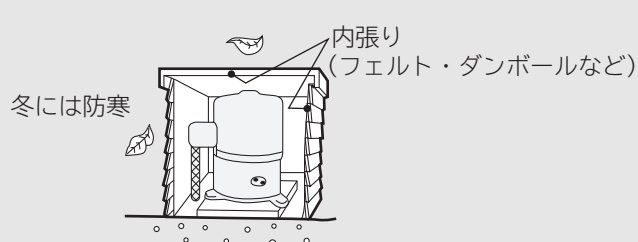
故障の原因になりますので、**停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にしてから電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

■テレビやラジオなどの電子機器を近付けない

テレビ画面の乱れや、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■冬期には凍結防止策を行う

凍結による破損事故については責任を負えません。凍結防止対策を行ってください。→(P.24)



■長期間水を使用しなかった場合は、しばらく通水し、水がきれいになってから使用する

■配管の凍結防止を目的として、水栓から少量の水を流し続けることはしない

少量の水を流し続けると、ポンプの運転・停止が頻繁になり、寿命を縮める原因になります。

■長期間使用しない場合は水抜きをする

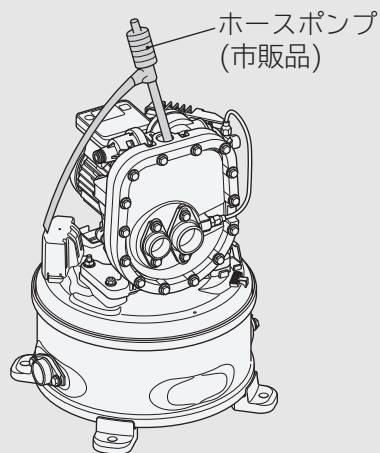
電源プラグをコンセントから抜いている場合、ポンプの凍結防止機能→(P.24)が作動せず、ポンプヘッド部が凍結し、破損する恐れがあります。

下記の手順で水抜きを行ってください。

再びご使用されるときは、呼び水を入れてから運転してください。→(P.21)

ポンプの水抜きのしかた

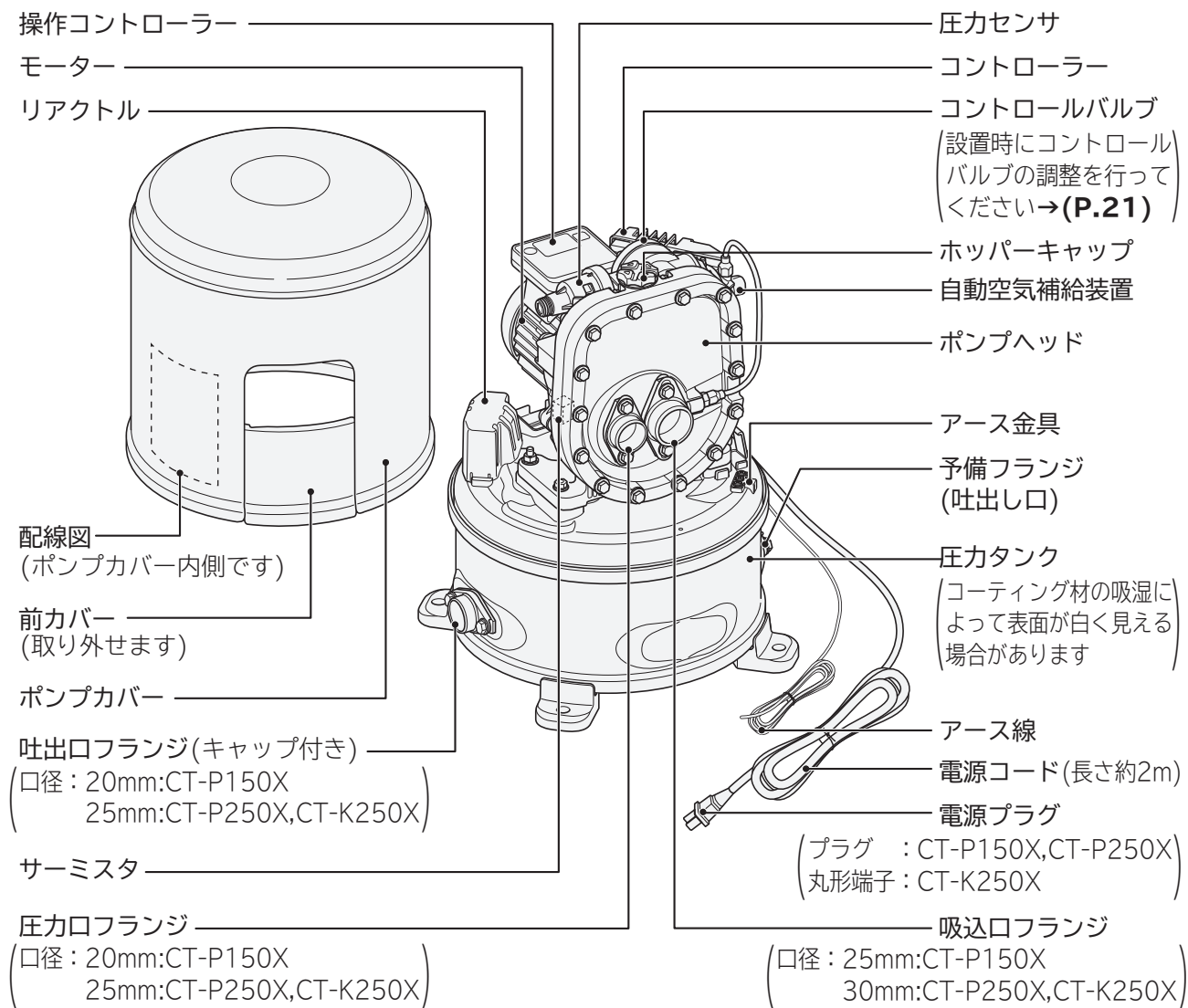
- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る
- 3 吐出側の水栓を開き、圧力を逃がす
- 4 ホッパーキャップを外し、ホースポンプ (市販品) を奥まで差し込み、水を抜く
- 5 水が抜けたら、ホッパーキャップを取り付ける



各部のなまえ

製品は検査の上お届けしておりますが、輸送中に破損や付属品の脱落などが生じる場合があります。開封後に以下の部品をご確認ください。

CT-P150X・CT-P250X・CT-K250X

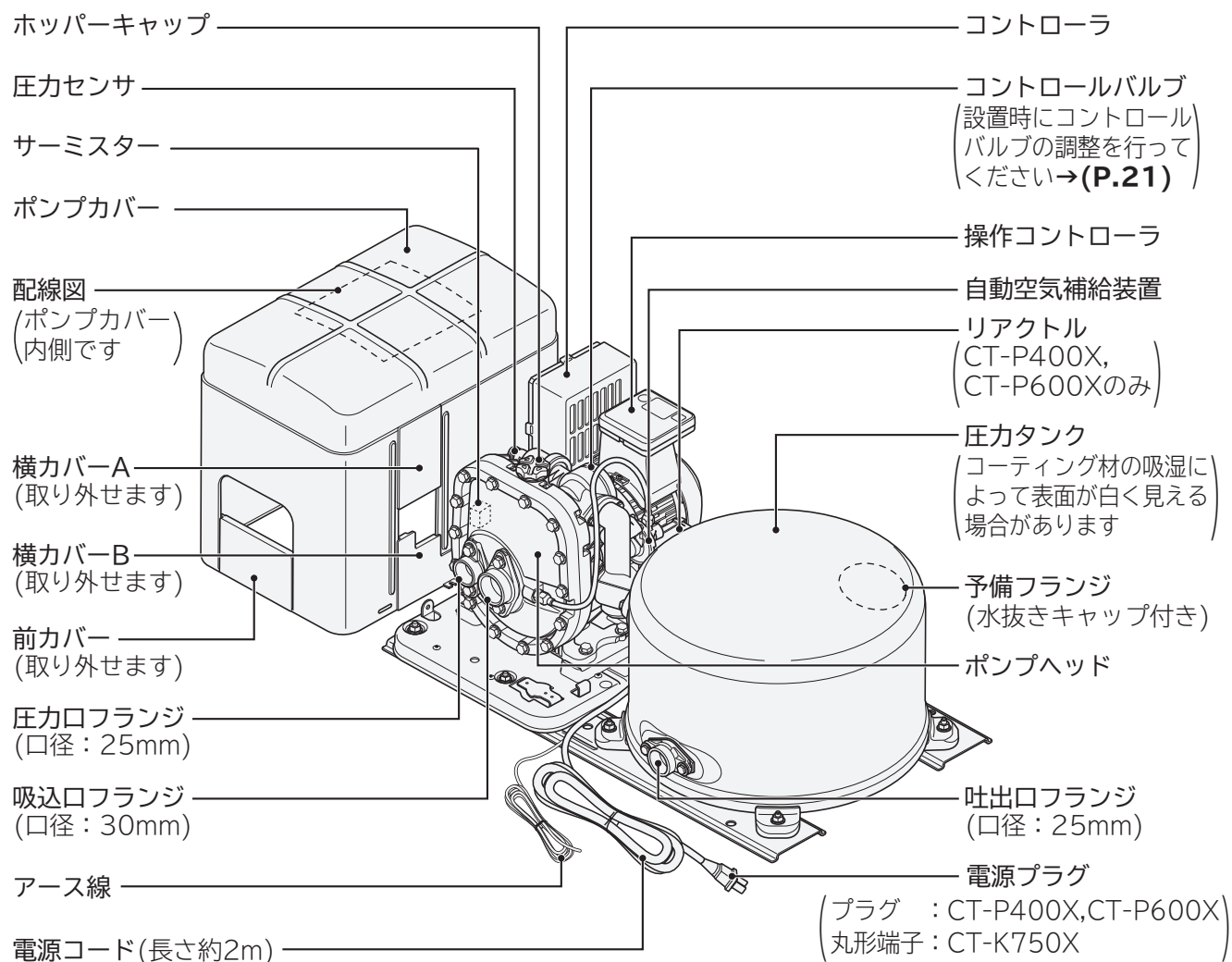


図はCT-P250Xです。

ご注意

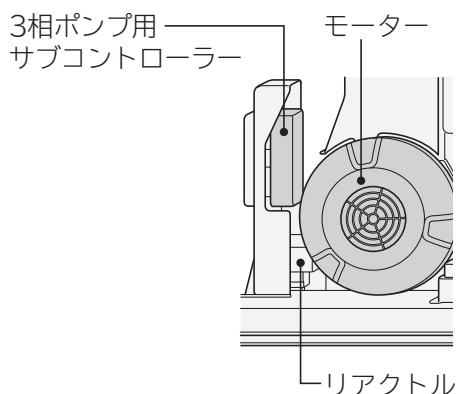
フランジにはあらかじめキャップが付いていますので、設置時に外してください。
また、キャップを取り外したときに、通水試験の残水がフランジより出ることがあります。

CT-P400X・CT-P600X・CT-K750X



図はCT-P400Xです。

CT-K750Xの場合

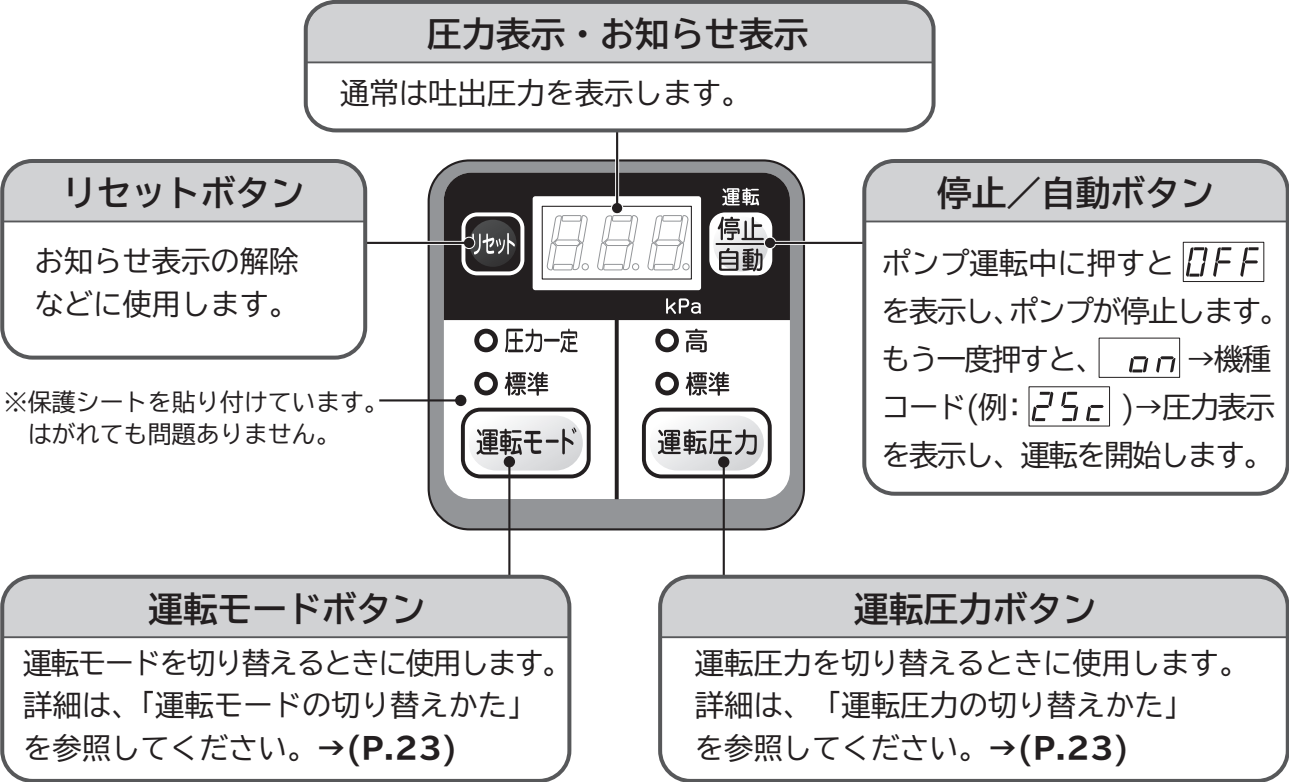


ご注意

ポンプ開梱時、通水試験の残水がフランジより出ることがあります。

各部のなまえ（続き）

操作コントローラーのはたらき

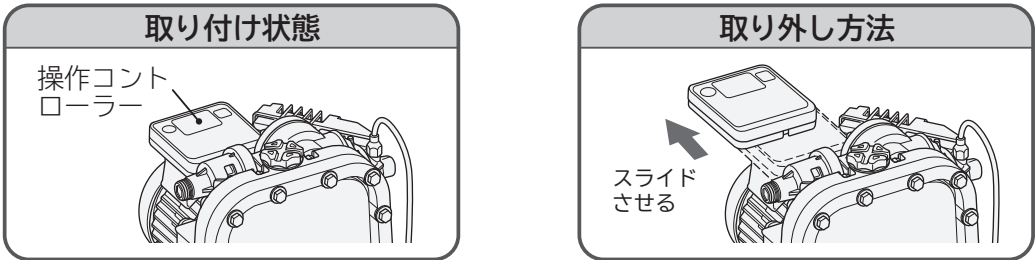


操作コントローラーの表示について

運転中の表示

表 示			内 容
運転中	点灯時 (常時点灯)	[例] 240	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば 240 のときは240kPaです。モーターが回転している状態です。(右下にドット「.」表示あり)
	点灯時	[例] 190	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば 190 のときは190kPaです。モーターが停止している状態です。約3分後に消灯します。
停止中	消灯時	[例] . . . ※停止から3分後	ポンプの電源が入っており、モーターが停止している状態です。 運転モード または 運転圧力 を押すと、吐出圧力表示に戻ります。

操作コントローラーについて（操作しにくいときは、取り外してご使用ください）



据え付け工事について

(販売店様・工事店様用)

【工事をされる方へのお願い】

- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- 製品機能が十分発揮できるように、この「据え付け工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

井戸の砂について

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分に取り除いてから配管してください。
- 砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。→(P.11)

吸上高さの確認

吸上高さは、以下の手順で水位(ポンプ中心から水面まで)と吸込管の全長から算出してください。吸上高さが仕様を超えた場合、ポンプが停止しません。

1 水位の確認

運転中の水位変化、渇水期の水位低下を考慮し、ポンプの中心から水面までの高さを確認してください。

2 吸込管全長の確認

吸込管全長を確認してください。
吸込管全長は吸込管先端からポンプまでです。

3 吸上高さの算出

水位と吸込管全長から吸上高さを算出してください。

吸上高さの算出式

$$\text{水位} + (\text{吸込管全長} \times 0.1) = \text{吸上高さ}$$

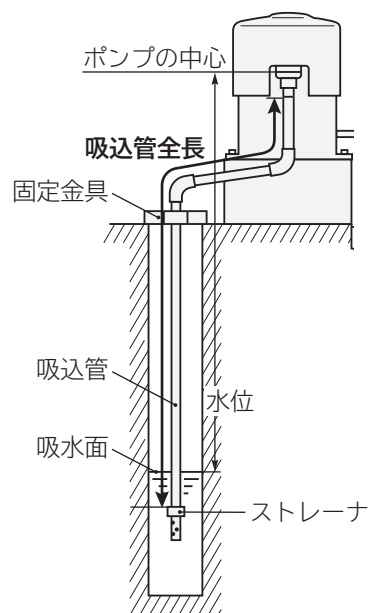
【例】水位が5m、吸込管全長が10mのときの吸上高さ
 $5\text{m} + (10\text{m} \times 0.1) = 6$

4 吸上高さの確認

算出した吸上高さが、下表の仕様の範囲であることを確認してください。
吸上高さはポンプ型式によって異なります。下表により確認してください。

吸上高さとジェット部品(別売り)型式の関係

ポンプ型式	吸上高さ							
	浅井戸ジェット	深井戸ジェット				深井戸シングルジェット		
	～7m	7～12m	12～24m	24～30m	24～35m	7～12m	7～18m	7～24m
CT-P150X	J15-7X	J15-12X	—	—	—	J15-12SX	—	—
CT-P250X CT-K250X	J25-7X	J25-12X	J25-24X	—	—	—	J25-18SX	—
CT-P400X	J40-7X	J40-12X	J75-24X	J75-35X	—	—	—	J40-24SX
CT-P600X CT-K750X	J75-7X	J75-12X	J75-24X	—	J75-35X	—	—	J40-24SX



据え付け前の確認 (続き)

押上高さの確認

押上高さは、以下の手順で水栓高さ(ポンプ中心から水栓まで)と吐出管の全長から算出してください。押上高さが仕様を超えた場合、水栓から水が出ません。

1 水栓高さの確認

ポンプの中心から水栓までの高さを確認してください。

2 吐出管全長の確認

吐出管全長を確認してください。

吐出管全長は吐出管先端からポンプまでです。

3 押上高さの確認

水栓高さと吐出管全長から押上高さを算出してください。

押上高さの算出式

$$\text{水栓高さ} + (\text{吐出管全長} \times 0.1) = \text{押上高さ}$$

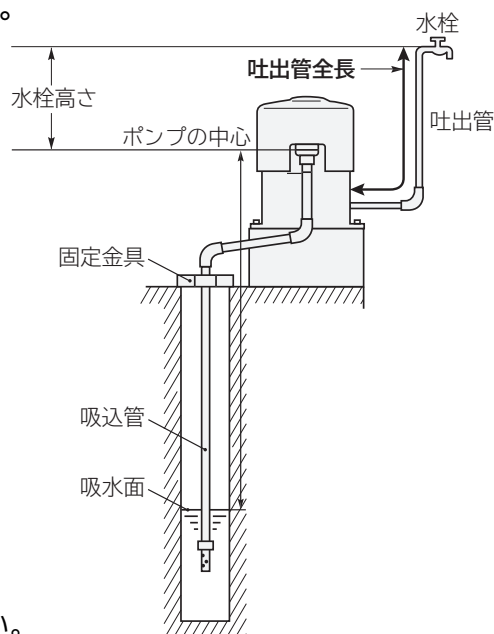
【例】水栓高さが3m、吐出管全長が20mのときの押上高さ
 $3\text{m} + (20\text{m} \times 0.1) = 5\text{m}$

4 ポンプ型式の確認

算出した押上高さが、仕様の範囲であることを確認してください。

水栓が複数あるときは、それぞれの配管で算出し、最も高くなる押上高さで判断してください。

押上高さはポンプ型式および運転モード、運転圧力によって異なります。→(P.32)



ご注意

- 配管口径はポンプ型式によって異なります。→(P.32)
- 吐出管に配管口径より細い配管を使用した場合、配管抵抗により水栓から水が出ない場合があります。

電源の確認

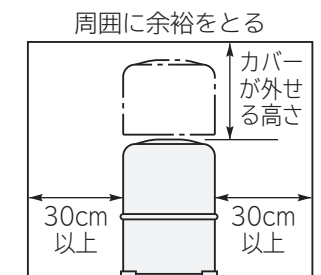
ポンプ型式によって相・電源電圧が異なります。

下表により確認してください。

ポンプ型式	相・電源電圧
CT-P150X、CT-P250X、CT-P400X、CT-P600X	単相・100V
CT-K250X、CT-K750X	3相・200V

据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプはできるだけ井戸の近くに取り付けてください。
- 水平な場所に据え付けてください。凹凸のある場所や傾いた場所に据え付けた場合、振動や騒音が大きくなる場合があります。
- ガス類や引火物の近くには据え付けしないでください。火災の恐れがあります。
- 可燃物(木材や段ボールなど)の上には設置しないでください。火災の恐れがあります。



ほかの機器との組み合わせについて

除鉄・除菌システム、除菌器および浄水器と組み合わせる場合は、各器の耐水圧仕様を確認してください。ポンプの停止圧が耐水圧を超える場合は、減圧弁(市販品)を使用し、過大圧力が加わらないようにしてください。

据え付け前のご注意

⚠ 注意

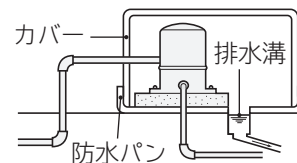


防水処理・排水処理されていない床面に設置しない

水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
防水パン・カバーなどで、吹き出した水が排水できるようにしてください。

※カバーは風通しがよい構造にしてください。

※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。



■できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付ける

製品を長持ちさせるため、屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。

■水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定する

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートで作ることをおすすめします。

■吸込管を共有した2台以上の並列接続はしない

揚水量の減少や、ポンプが正常に動作しなくなる場合があります。

■ポンプの直列接続はしない

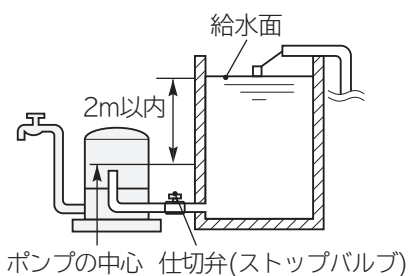
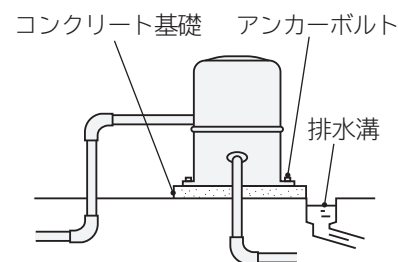
ポンプ内の水圧が上がり、水漏れする恐れがあります。

■給水面がポンプヘッドより高くなる時(押込揚程のとき)は、2m以内にする

- ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぎます。
- 吸込口の近くに仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。点検・修理の際に必要です。

■市販の給水機器との組み合わせについて

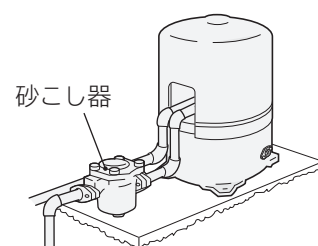
- フラッシュバルブを使うと、いったん水が途切れますので使用は避けてください。
- ボイラーへの給水は、減圧弁を使用してボイラーに過大圧力が加わらないようにしてください。



ご注意 ポンプ運転圧力は、「仕様」→(P.32)を参照してください。

■砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付ける

- 砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。
吐出側に取り付けると、砂こし器が水圧に耐えられず、水漏れする恐れがあります。
- ポンプヘッド部の砂かみや摩耗を防ぎます。



配管工事について

新規に接続の場合

1 準備するもの

市販の配管、ツギテ、ストップバルブなどを準備してください。
配管は水道用硬質塩化ビニル管を使用してください。

2 吸込管、ジェットの種類

- (1) 9ページの吸上高さとジェット部品(別売り)型式の関係の表に適合したジェットを準備する。
- (2) 15～17ページの据え付け方法を確認のうえ接続する。

3 吐出管の接続

- (1) 圧力タンクの接続しやすい位置のフランジに、バルブソケットで吐出管を接続する。
- (2) 吐出口の位置を変えるときは、吐出フランジ、予備フランジをボルトとともに交換する。
→(P.6)
- (3) 吐出口には仕切弁(ストップバルブ)を取り付ける。

配管の互換性について

CT-P150X、CT-P250X、CT-K250X

ポンプのシリーズ名(型式末尾のアルファベット)によって配管互換性の有無が異なります。
現在お使いのポンプのシリーズ名をご確認ください。

シリーズ名	吸込側	吐出側
W・V・S形	互換性があります。	互換性があります。
J形以前	互換性ありません。 吸込管を60mm下げてください。	互換性があります。



CT-P400X、CT-K600X、CT-K750X

従来のポンプ(W形以前)との互換性があります。
配管は既設まま接続できます。

ジェットの互換性について

F形以降のジェットを使用することができますが、性能確保のため、X形ジェットへの交換をおすすめします。

W形以前の標準ジェットを浅井戸配管で使用した場合、吸上高さは6mまでとなります。
また、W形以前の標準ジェットを使用する場合は、下記サービス部品をお使いください。

据え付け方法	部品名	部品番号	使用数量	QRコード
浅井戸配管の場合	コティカナグブックミ	J25-7X 006	1	
深井戸配管の場合	コティカナグ(L)ブックミ	J25-24W 002	1	

ポンプと配管の接続

使用する配管口径

市販のバルブソケットを用意して、下記配管口径の水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

ポンプ型式	吸込側							吐出側
	ジェット型式		必要井戸径	吸上高さ	配管口径			吐出管
					吸込管	圧力管	配管質量目安 [※]	配管口径
CT-P150X	浅井戸ジェット	J15-7X	－	～7m	20mm	－	～5kg	20mm
	深井戸ジェット	J15-12X	VP75以上 (77mm以上)	7～12m	25mm	20mm	11～19kg	
	深井戸用シングルジェット	J15-12SX	VP40専用 (40mm専用)	7～12m	25mm	20mm	7～11kg	
CT-P250X CT-K250X	浅井戸ジェット	J25-7X	－	～7m	25mm	－	～7kg	
	深井戸ジェット	J25-12X	VP100以上 (100mm以上)	7～12m	30mm	30mm	18～31kg	
	深井戸ジェット	J25-24X		12～24m	30mm	30mm	31～62kg	
	深井戸用シングルジェット	J25-18SX	VP50専用 (51mm専用)	7～18m	30mm	25mm	14～28kg	
CT-P400X	浅井戸ジェット	J40-7X	－	～7m	30mm	－	～7kg	25mm
	深井戸ジェット	J40-12X	VP100以上 (100mm以上)	7～12m	30mm	30mm	18～31kg	
	深井戸ジェット	J75-24X		12～24m	30mm	30mm	31～62kg	
	深井戸ジェット	J75-35X		24～30m	30mm	30mm	62～78kg	
	深井戸用シングルジェット	J40-24SX	VP50専用 (51mm専用)	7～24m	30mm	25mm	14～36kg	
CT-P600X CT-K750X	浅井戸ジェット	J75-7X	－	～7m	30mm	－	～7kg	
	深井戸ジェット	J75-12X	VP100以上 (100mm以上)	7～12m	30mm	30mm	18～31kg	
	深井戸ジェット	J75-24X		12～24m	30mm	30mm	31～62kg	
	深井戸ジェット	J75-35X		24～35m	30mm	30mm	62～90kg	
	深井戸用シングルジェット	J40-24SX	VP50専用 (51mm専用)	7～24m	30mm	25mm	14～36kg	

※配管全長が長くなるほど、質量は目安より大きくなります。

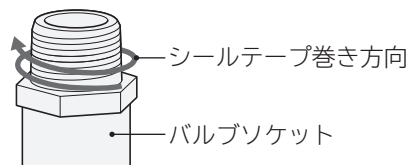
配管工事について（続き）

配管の施工の基礎

フランジとバルブソケットの接続方法

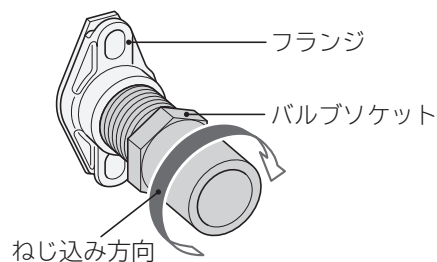
1 シールテープの巻き方

水漏れや空気吸い込み防止のため、市販のバルブソケットにシールテープを十分に巻いてください。シールテープは、バルブソケットのねじと逆方向に巻いてください。



2 バルブソケットにフランジを取り付ける

フランジを本体から取り外し、フランジにバルブソケットを取り付けてください。本体にフランジを取り付けたままバルブソケットを取り付けると、破損の原因になります。取り付けの際には、パイプ用レンチなどを用いて十分にねじ込んでください。



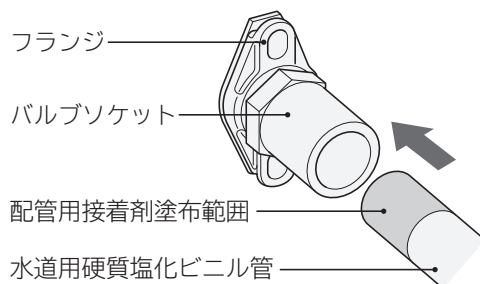
水道用硬質塩化ビニル管の接着方法

1 配管用接着剤を塗布する

市販の水道用硬質塩化ビニル管に接着剤を塗布します。

2 配管と継手を接続する

水道用硬質塩化ビニル管を継手(バルブソケットやエルボなど)に差し込んでください。



- ご注意**
- 水道用硬質塩化ビニル管は継手に差し込んだまま10秒以上保持してください。途中で手を離すと、抜けてしまう場合があります。
 - 通水は、接着剤が乾いてから行ってください。乾く前に通水すると、ポンプが接着剤を吸い込み、つまりなど不具合の原因になります。

配管工事の際のお願い

警告



ポンプを水道管に直接配管しない

この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。

- 配管重量がポンプに加わらないようにする
- 配管の継ぎ目は空気の吸い込みや水漏れがないように行う
性能低下の原因になります。
- 配管工事の際、配管の中に切りくずや小石、接着剤が入らないようにする
ポンプの羽根車や逆止弁につまり、揚水不能の原因になります。
- 水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくする
性能低下、揚水不能の原因になります。
- 過大な力でねじ・ボルト類を締め付けない
破損の原因になります。

据え付け方法

- 吸上高さが7m以内のときは、浅井戸ジェットで配管を行ってください。
- 吸上高さが7mを超えるときは、深井戸ジェットで配管を行ってください。

浅井戸ジェット、標準ジェットの場合

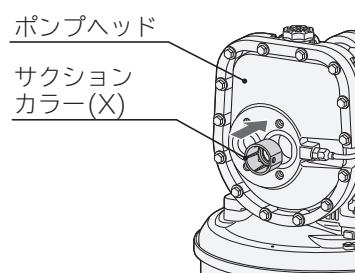
ジェットのシリーズ名(型式末尾のアルファベット)によって施工方法が異なります。
組み合わせるジェットのシリーズ名をご確認ください。

X型の浅井戸ジェットと組み合わせる場合

1 ポンプヘッドにサクションカラー(X)(ジェット部品に付属)を取り付ける

CT-P150Xには使用しません。

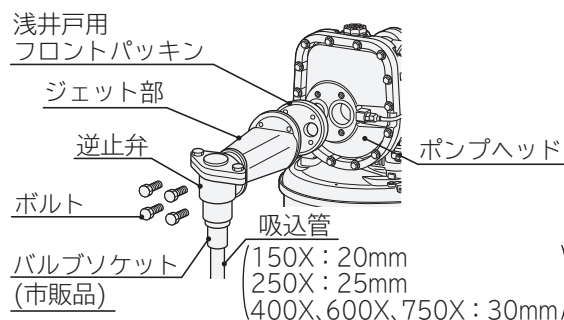
また、J15-7X(CT-P150X用のジェット)に
サクションカラー(X)は、付属していません。



2 吸込管の先端にストレーナ(ジェット部品に付属)を取り付ける

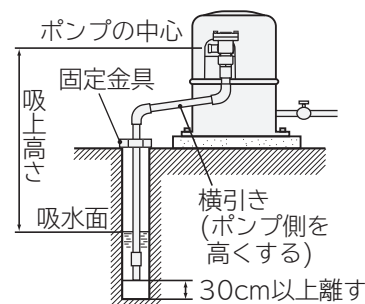
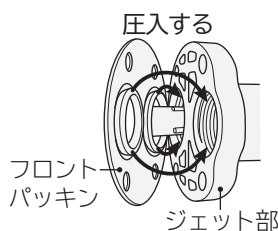
3 ジェットにバルブソケット(市販品)をねじ込み、吸込管を接続する

4 固定金具(ジェット部品に付属)を取り付ける (配管質量がポンプに加わらないようにする) 固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。



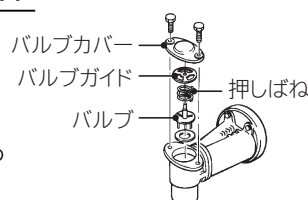
ご注意

水封性・作業性向上のため
フロントパッキン(ジェット
部品に付属)の突部をジェッ
ト部に圧入後、作業を行っ
てください。



吸上高さが3mより浅い場合、または押込揚程の場合

浅井戸ジェットに押しばね(ジェット部品に付属)を
入れてください。押しばねを入れないと、圧力タンクに
十分な空気が補給されません。
圧力タンク内の空気が不足すると、ポンプが停止しなかつ
たり、運転中の圧力変動が大きくなる場合があります。

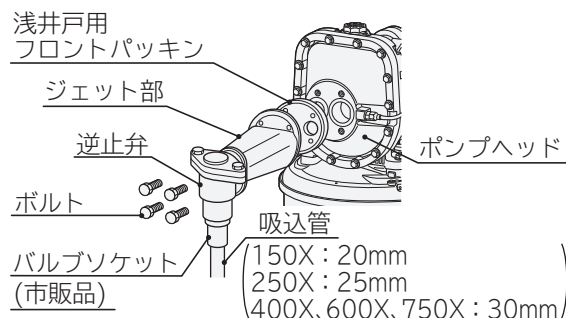


吸上高さが3mより
深いときは、押しば
ねを入れないでくだ
さい。

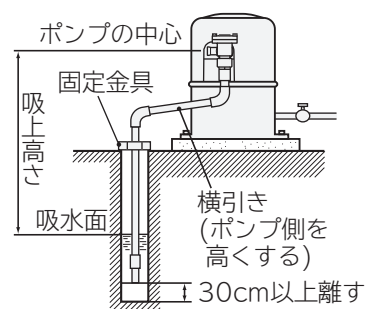
配管工事について（続き）

W型以前の標準ジェットと組み合わせる場合

- 1 吸込管の先端にストレーナ(ジェット部に付属)を取り付ける
- 2 ジェットにバルブソケット(市販品)をねじ込み、吸込管を接続する
- 3 固定金具(別売りのサービス部品)を取り付ける
(配管質量がポンプに加わらないようにする)
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。

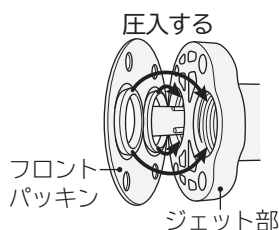


部品名	部品番号	使用数量	QRコード
コティカナグブクミ	J25-7X 006	1	



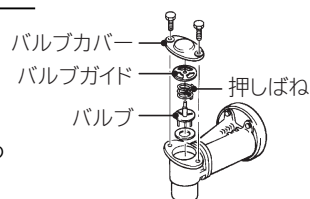
ご注意

水封性・作業性向上のため
フロントパッキン(ジェット
部品に付属)の突部をジェッ
ト部に圧入後、作業を行っ
てください。



吸上高さが3mより浅い場合、または押込揚程の場合

浅井戸ジェットに押しばね(ジェット部品に付属)を
入れてください。押しばねを入れないと、圧力タンクに
十分な空気が補給されません。
圧力タンク内の空気が不足すると、ポンプが停止しなかつ
たり、運転中の圧力変動が大きくなる場合があります。



吸上高さが3mより
深いときは、押しば
ねを入れないでくだ
さい。

ご注意 W型以前のジェットを浅井戸配管で使用した場合、吸上高さは6mまでとなります。

深井戸ジェットの場合

■ジェット部の接続

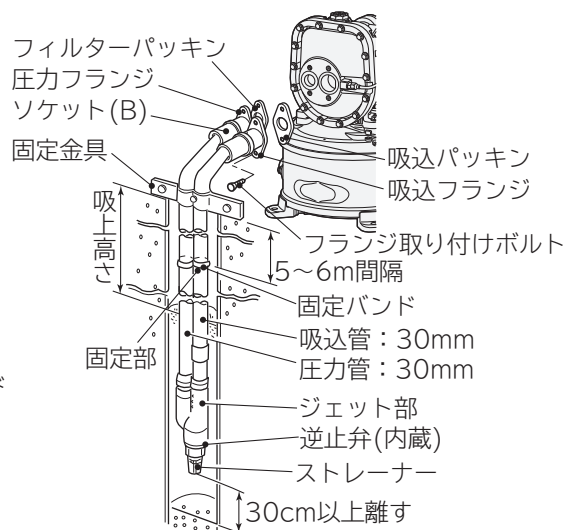
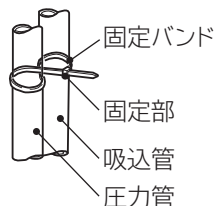
30mm水道用硬質塩化ビニル管によって配管します。

■固定金具の取り付け

ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように吸込管、圧力管をしっかり固定してください。固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。

■固定バンドの取り付け

- 井戸の中に入る吸込管と圧力管の広がりなくするため、5～6m間隔で取り付けてください。
- 固定バンドは8の字形に取り付けてください。
100mmの井戸径に施工する場合は、固定バンドの固定部が吸込管と圧力管との間に来るよう、位置を調整してください。

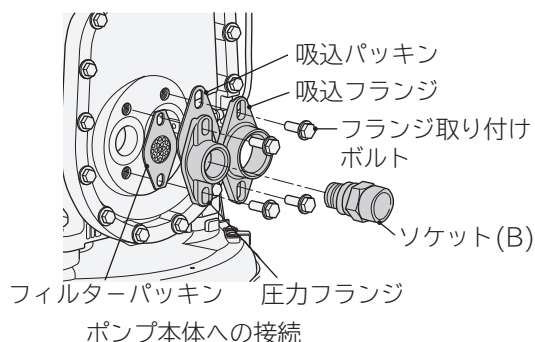
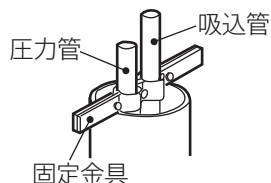


■ポンプ本体への接続

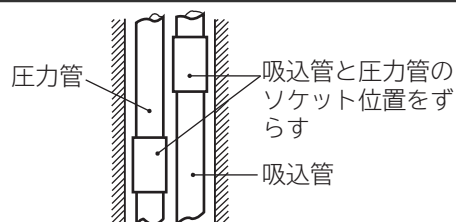
ポンプ本体付属の圧力フランジ、吸込フランジ、フィルターパッキン、吸込パッキン、フランジ取り付けボルトとジェット部品に付属のソケット(B)によって圧力管、吸込管を配管します。

■吸込管と圧力管の見分け

配管に4mの定尺管を用いると吸込側は圧力側より高くなります。これにより、吸込側と圧力側を判断しポンプと接続します。(逆になると揚水しません)



- ご注意**
- 井戸径が100mmの場合は、井戸へ挿入可能にするため、吸込管と圧力管のソケット位置をずらしてください。
 - 吸込管と圧力管は同径です。ポンプ本体の吸込口、圧力口への接続を間違わないようにご注意ください。

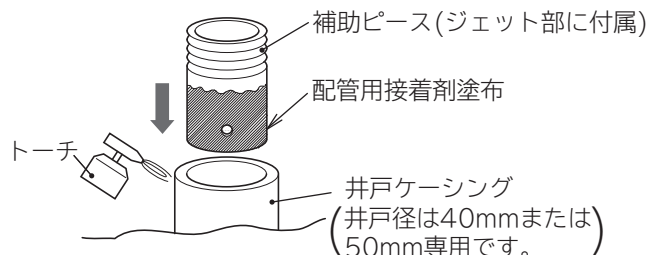


シングル(特殊)ジェットの場合

1 井戸ケーシングに補助ピース(ジェット部に付属)を取り付ける

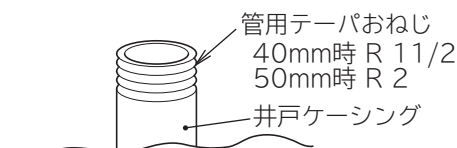
●井戸ケーシングが塩化ビニル管の場合

井戸ケーシングをトーチなどであぶり柔らかくし、かつ補助ピースに接着剤を塗付したものを、補助ピースの長さの2/3位押し込み取り付けます。(熱間接続)



●井戸ケーシングが配管用炭素鋼鋼管の場合

あらかじめ、鋼管の先端に「アダプター」接続用の管用テーパおねじを形成しておいてください。この場合は付属の補助ピースは使用しません。



配管工事について（続き）

2 ジェット部に吸込管を接続する

- ジェット部との接続および井戸中にある吸込管は所定の管径の水道用硬質塩化ビニル管をご使用ください。

CT-P150X

水道用硬質塩化ビニル管20mm

CT-P250X、CT-K250X、CT-P400X、CT-P600X、CT-K750X

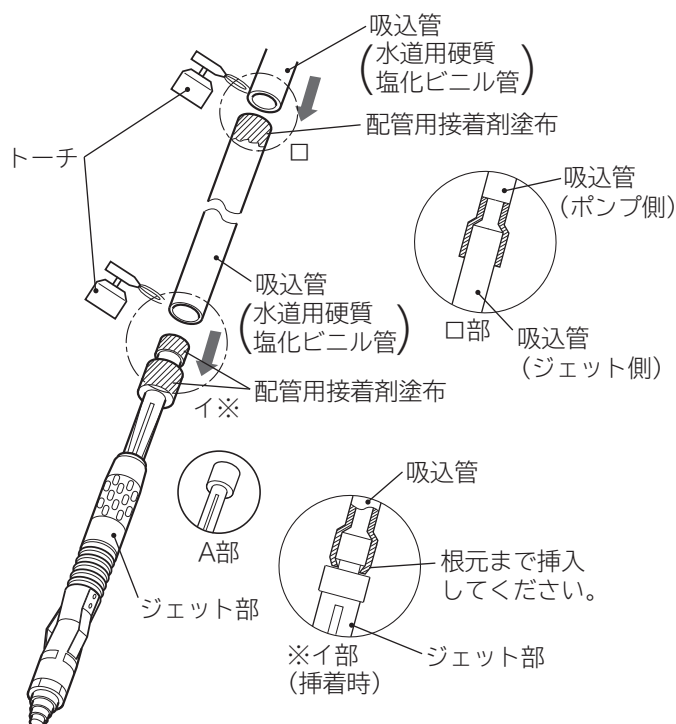
水道用硬質塩化ビニル管30mm

- 吸込管は熱間で接続してください。水道用硬質塩化ビニル管をトーチであぶり柔らかくし、かつ接続部には接着剤を塗布し、押し込んでください。

ご注意

- 接続部には必ず接着剤を塗布してください。
- 市販のバルブソケットで接続すると揚水量・圧力ができません。ジェット部との接続および井戸中にある吸込配管はすべて熱間接続にて形成してください。

- 吸込管を井戸の深さに応じて、必要な長さの水道用硬質塩化ビニル管（市販・4m長）を準備し、熱間接続にて形成してください。ただし、図示口部のとおり、接続部はポンプ側が上になるように作業してください。



※イ部形状は「J15-12SX」です。
「J25-18SX」「J40-24SX」は、
上記図のA部に示す形状です。

3 井戸にジェット部を挿入する

- ジェット部挿入前に吸込管を固定して、スプリングドッグを持って回転する事を確認してください。

- ① 井戸の中に、ジェット部を真っすぐに所定の位置まで挿入します。

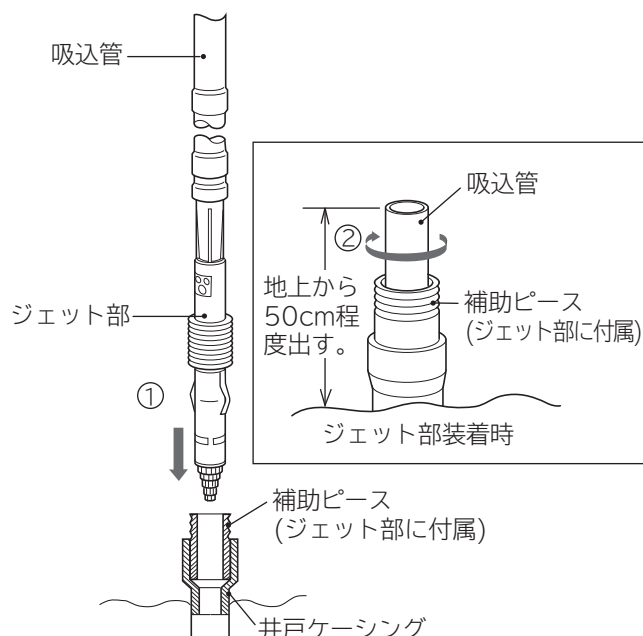
挿入前にジェット部および井戸ケーシングの内面を水で濡らすと、作業を容易に行えます。

ご注意

吸込管挿入作業中は回さないで作業を行ってください。挿入時回しますと、ジェット部水封部が広がり入らなくなります。

- 据付場所の制限で所定長さまで吸込管が形成できず、
③ 挿入作業中に吸込管を継ぎ足していく場合は、
接続されたことを確認のうえ挿入作業を進めてください。

- ② 所定位置まで挿入後、吸込管を右へかたくなるまで回します。（10回転位）
ジェット部が井戸ケーシングに固定されます。



4 ジェット部とポンプ本体を接続する

① 補助ピース(ジェット部に付属)のねじ部にシール材を塗布します。

② ジェット部に付属のアダプターに取り付けられているサブフランジ、Oリング、アソビフランジ、およびパッキンを取り外し、アダプターを補助ピースねじ部にねじ込みます。
アダプターの方向は④の配管を考慮して決めてください。

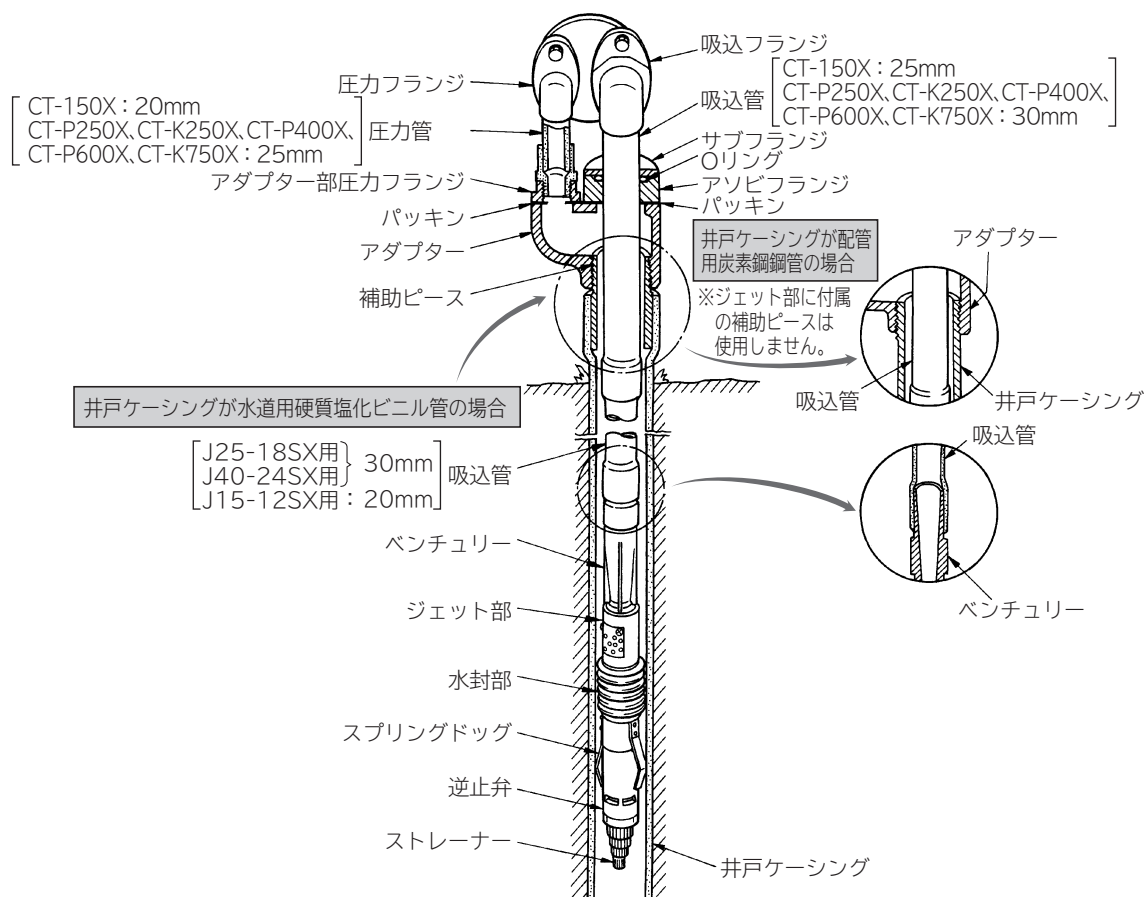
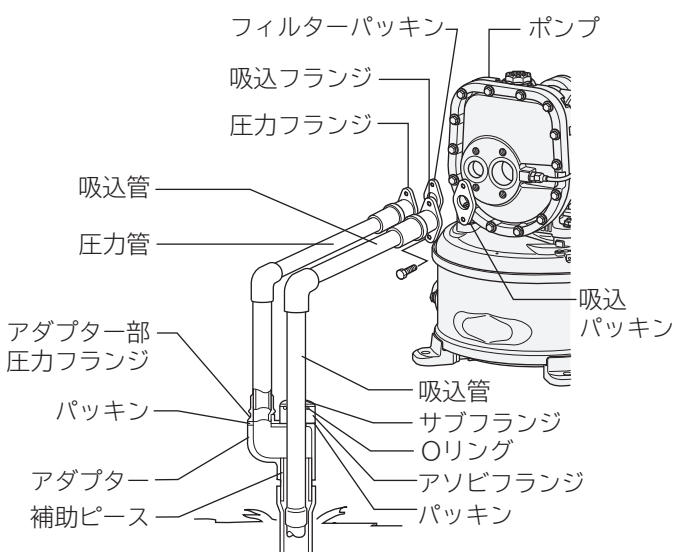
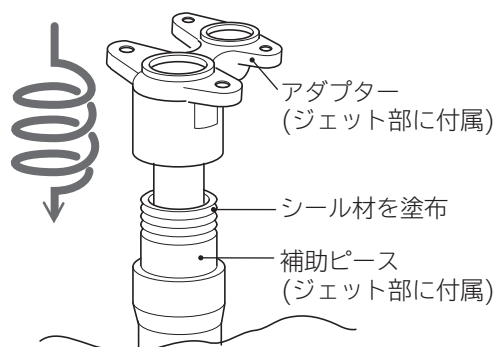
③ 吸込管に元どおり②で外した部分を挿入し、取り付けます。

ご注意

アダプターとのねじ固定はここでは行わないでください。

④ 吸込フランジと吸込管および圧力フランジとアダプター部圧力フランジを市販の水道用硬質塩化ビニル管・管継手により配管します。

⑤ ポンプ本体とアダプター部を接続するフランジをボルトでしっかり固定してください。



配線工事について

⚠ 警告



配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全に行う

誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



テーブルタップによるタコ足配線はしない

発煙・発火の原因になります。

- ほかの電子機器などへ悪影響を与えないため、専用の配線にしてください。
- 同一分岐回路に照明器具がありますと、ポンプの起動時、照明器具がちらつくことがあります。
- 本製品はマイコンにて制御していますので、運転時の電圧が低くならないよう（定格電圧の±10%以内）にしてください。

アース線の接続と漏電遮断器について

⚠ 警告



アースを取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- 漏電したときの感電事故を防ぐため、取り付けてください。（取り付けは有料です）
- アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事（電気工事士が行います）が必要です。
- 工事の際は、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切った状態で接続してください。

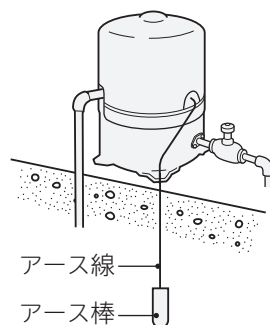
アース線の接続について

D種接地工事（第3種接地工事）をしてください。

既設のアース線があるときは、D種接地（第3種接地）を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意

次のようなところには、アース線を接続しないでください。（法令などで禁止）
ガス管、電話線、避雷針、水道管（水栓）



漏電遮断器について

- 漏電遮断器は⚡マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

電源電線について

- CT-P150X、CT-P250X、CT-P400X、CT-P600Xのとき
専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。
- CT-K250X、CT-K750Xのとき
電源側にはブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。

試運転

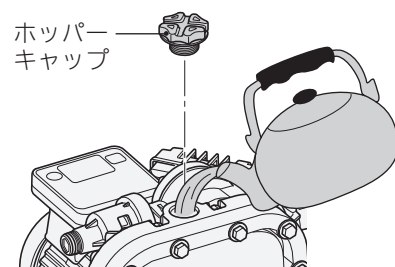
試運転のしかた

浅井戸ジェット使用時

- 1 ホッパーキャップを外し、呼び水(約2L)を入れる
押込配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む
- 3 同時に使う水栓を開く
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む
[ON] →機種コード (例: [25C]) →圧力が表示され、ポンプが運転を開始します。
- 5 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

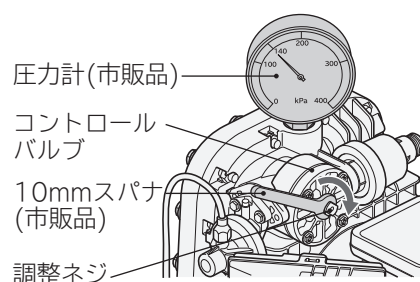
- モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



- 数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
浅井戸ジェット使用時は、2～3分ごとに再び呼び水をする、早く揚水します。

深井戸ジェット使用時

- 1 ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水を十分に入れる
- 2 圧力計(市販品)を呼水口に取り付ける
- 3 コントロールバルブの調整ネジを、ネジ部が隠れる程度までねじ込む
- 4 同時に使う水栓を開く
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
[ON] →機種コード (例: [25C]) →圧力が表示され、ポンプが運転を開始します。
- 6 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
- 7 調整ネジを緩め、右表の圧力調整値を目安に、音が静かになる位置に調整する
- 8 圧力計を外し、ホッパーキャップをしっかりねじ込む



型 式	深井戸ジェット使用時の圧力調整値
CT-P150X	70～90kPa
CT-P250X CT-K250X	120～140kPa
CT-P400X	180～200kPa
CT-P600X	220～240kPa
CT-K750X	250～270kPa

- ご注意** ●空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしない状態で運転しないでください。
●電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。
●表示はモーターが停止してから約3分後に消灯します。→(P.8)

運転状態の確認

- 1 運転を開始したら水栓を開閉し、ポンプの運転状態や、漏水がないか確認する
- 2 水栓を閉じてポンプが停止することを確認する
ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。施工状況によっては、停止圧力が制御圧力より高い圧力で、停止する場合があります。
- 3 ポンプカバーをかぶせてねじ止めする

- ご注意** 水栓を閉じたあと、凍結防止運転([PH])を開始する場合がありますが、異常ではありません。水栓を開いて、水を使用すると通常運転に戻ります。

運転のしかた

運転モードについて

工場出荷時は、運転モードを「標準」に設定しています。必要に応じて「圧力一定」に切り替えて使用してください。ただし、配管や水栓から水漏れしている場合や、長時間連続して水を使う場合は、「標準」をおすすめします。

また、使用状態や用途に応じて、運転圧力を切り替えることができます。

「標準」モードの運転圧力について

ポンプの起動圧力・停止圧力を定め、ポンプを断続運転させる運転モードです。

ポンプを断続運転し、自動空気補給装置を作動させ、圧力タンク内へ定期的に空気を補給します。

運転圧力の設定により、起動圧力・停止圧力が下表のように変わります。

型 式	運転圧力	押上高さ	標準	
			起動圧力	停止圧力
CT-P150X	「標準」(工場出荷時)	10m	110kPa	170kPa
	「高」			200kPa
CT-P250X CT-K250X	「標準」(工場出荷時)	15m	160kPa	220kPa
	「高」			250kPa
CT-P400X CT-P600X	「標準」(工場出荷時)	16m	180kPa	240kPa
	「高」	18m	200kPa	340kPa
CT-K750X	「標準」(工場出荷時)	16m	180kPa	240kPa
	「高」	20m	220kPa	370kPa

「圧力一定」モードの運転圧力について

ポンプの吐出圧力の変動を「標準」より抑えた運転モードです。

制御圧力(吐出圧力)は、下表の設定となっております。

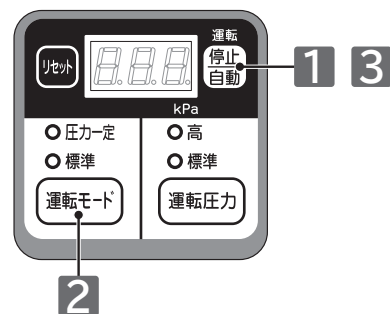
型 式	運転圧力	押上高さ	圧力一定	
			起動圧力	制御圧力
CT-P150X	「標準」(工場出荷時)	11m	120kPa	140kPa
	「高」			190kPa
CT-P250X CT-K250X	「標準」(工場出荷時)	16m	170kPa	190kPa
	「高」	17m	180kPa	250kPa
CT-P400X CT-P600X	「標準」(工場出荷時)	18m	200kPa	240kPa
	「高」			340kPa
CT-K750X	「標準」(工場出荷時)	21m	220kPa	260kPa
	「高」			370kPa

少水量使用時は、制御圧力と起動圧力の範囲で圧力変動する場合があります。

ご注意 深井戸ジェットを用いて運転圧力「高」でご使用になる場合は、吸上高さ12m以内で使用してください。過負荷によるポンプの故障や寿命低下を防ぐためです。
吸上高さ12mを超えて使用した場合、水栓を閉じてもポンプが停止しない場合があります。

運転モードの切り替えかた

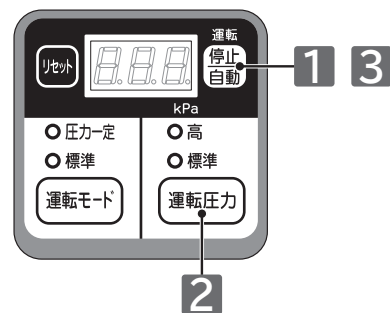
- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 **運転モード** を押し、希望のモード(● 標準 または ● 圧力一定) のランプを点灯させる
運転モード を押すごとにランプは切り替わります。
- 3 **停止自動** を押す



- ご注意** ● **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前に戻ります。
- 各ボタン(**停止自動** **運転モード** **運転圧力**)を長押しすると、サービス機能(→(P.25)記載以外)を表示することがあります。
サービス機能が表示された場合は、**リセット** を押してください。

運転圧力の切り替えかた

- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 **運転圧力** を押し、希望のモード(● 標準 または ● 高) のランプを点灯させる
運転圧力 を押すごとにランプは切り替わります。
- 3 **停止自動** を押す



- ご注意** ● **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前に戻ります。
- 各ボタン(**停止自動** **運転モード** **運転圧力**)を長押しすると、サービス機能(→(P.25)記載以外)を表示することがあります。
サービス機能が表示された場合は、**リセット** を押してください。


除菌器の接続について

- ご注意**
- 他社除菌器は結線できません。ポンプコントローラー故障の原因になります。
 - 日立除菌器を下記のサービス部品で結線する場合は、1台としてください。複数台接続すると、ポンプコントローラーの許容電流(2A)を超え、ポンプコントローラー故障の原因になります。

除菌器はポンプの運転状態に応じて間欠運転をします。

結線について

除菌器を接続する際は、除菌器の型式に応じて下記サービス部品を購入してください。部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

	組み合わせ除菌器			
	CS-20J1以前	CS-20NS	CS-30S、CS-30S2、CS-30V、CS-30V2、CS-130W、CS-230W、CS-130X、CS-230X	
部品名	セツゾクコネクタ(CS)	サービス部品 不要	配管接続の場合 サービス部品 不要	ポンプで制御する場合 テイスクウンテンハーネス
部品番号	CS-20J1 002		不要	CS-30S 021
QRコード		—	—	

カルキ量の調整について

除菌器接続後はカルキ量の調整を再度行ってください。
(カルキ量の調整方法は、除菌器の取扱説明書をご覧ください)

防寒について

暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがあるため、凍結防止策を行ってください。

※凍結による破損事故については責任を負えません。

警告



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすい物を入れない
過熱して発火することがあります。

凍結防止策

配管

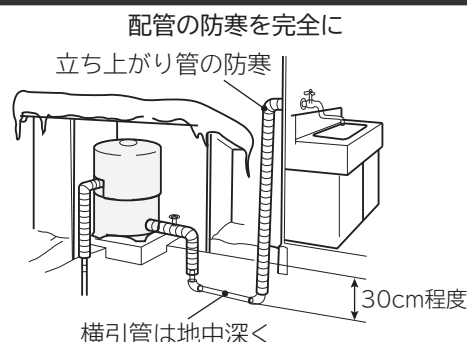
- 横引部分……地中に埋めてください。
 - 地上の露出部分……保温材を使用してください。
- 寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご使用ください。

ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。
小屋は夏に換気ができるようにしてください。

凍結防止運転

- 周囲の温度が約3℃以下になると自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。
凍結防止運転中に水を使用すると、通常運転に戻ります。
 - 凍結防止の効果は周囲温度が-5℃ぐらいまでが目安です。
- ※凍結防止運転については、「操作コントローラーにこんな表示が出たら」をご覧ください。→(P.25)







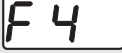


お困りのときは

修理を依頼される前に



次の点をもう一度お調べください

操作コントローラーにこんな表示が出たら


お知らせ表示と内容（販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください）

お知らせ表示	お知らせ内容		確認するところ
	空運転	井戸の水位低下や吸込管の水落ちにより、空運転が続いた場合に表示し、ポンプが停止します。	井戸の水位や逆止弁の異物詰まり、吸込管の水落ちを確認してください。
	受水槽断水	上水道の断水などにより、受水槽内が空になった場合に表示し、ポンプが停止します。	●断水の原因を確認してください。 ●断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
	欠相 (CT-K250X、 CT-K750Xのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
	ポンプヘッド 過昇温	ポンプヘッドが異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。 (約40℃まで温度が下がると自動復帰します)	●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。 ●設置場所が高温になっていませんか。 ●次によりポンプが停止せず、連続運転になっていませんか。 (1)井戸の水位低下や逆止弁の異物詰まり、吸込管の水落ち (2)ポンプや配管からの水漏れ (3)羽根車やジェット部への異物詰まり (4)圧力タンクの空気不足 →圧力タンク内の水を抜いてください。
	不足電圧	異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コードを延長していませんか。 ●同じコンセントにほかの機器を接続していませんか。
	過電流 または モーターロック	砂かじりなどによって羽根車がロックし、異常な電流が流れたときに表示し、ポンプが停止します。	ケーシング内の異物除去や羽根車などの固着がないか確認してください。
 (CT-P400X、CT-P600X) (CT-K750Xのみ)	コントローラー 過昇温	コントローラー内が異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。	●モーターとコントローラーの間に取扱説明書などのはさみ込みがないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。
	圧力センサー 断線	圧力センサーからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	圧力センサーのコネクタは差し込まれていますか。
	サーミスター 断線	サーミスターからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	サーミスターのコネクタは差し込まれていますか。
 (CT-K250X、 CT-K750Xのみ)	欠相	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●断水リレー用コネクタ(青)は差し込まれていますか。
 (CT-P150X、CT-P250X) (CT-K250Xのとき)	高圧力	ポンプ内圧が400kPa以上(CT-P400X、CT-P600X、CT-K750Xは500kPa以上)の場合に表示しますが、異常ではありません。	●水道管直結や押込高さが2mを超えていないか確認してください。また、水栓の急閉により表示する場合があります。
 (CT-P400X、CT-P600X) (CT-K750Xのとき)			●圧力タンクの水抜きをしてください。 ※この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。
	凍結防止運転	周囲の温度が約3℃以下になると、自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。凍結防止運転中に水を使用すると、通常運転に戻ります。	—

お困りのときは（続き）

症 状	確認するところ	直しかた
ポンプが止まらない	圧力タンクの空気が不足していませんか。	圧力タンクの水抜きをしてください。→(P.27)
	水栓、配管から漏水していませんか。→(P.27) (漏水チェック機能でポンプ停止→圧力低下)	配管を修理してください。
	ジェット内部のノズルが、ゴミ詰まりしていませんか。→(P.27) (漏水チェック機能で停止圧力まで上がらない)	ジェット部を分解して、内部をよく掃除してください。
	水位が低下していませんか。	水位を確認してください。 規定の吸上高さより深い場合は、機種を変更してください。
	 表示が出ていませんか。	凍結防止運転を行っている ので、異常ではありません。
ポンプが回らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを差し込んでください。
	ブレーカー、漏電遮断器が切れていませんか。	ブレーカー、漏電遮断器を確認してください。
	お知らせ表示が出ていませんか。→(P.25)	お買い上げの販売店または 工事店へご連絡ください。
使用していないのに ポンプが起動する	漏水チェック機能で、配管の漏水を確認してください。→(P.27)	配管を修理してください。
モーターは回るが揚水 しない	水位、配管の長さを確認してください。	配管を修理、または吸上げに 余裕がある場合は、吸込管を 延長する。
	吸込管から空気を吸い込んでいませんか。 吸込管の各つなぎ目部を点検・確認してください。	配管を修理してください。
吐出圧力表示・お知らせ 表示が点灯しない	 [ドット] 表示になっていませんか。	消費電力を抑えるため吐出圧 力表示はポンプ停止の約3分後 に消灯しますので、異常ではあ りません。→(P.8)

漏水を確認するときは(漏水チェック機能)

1  を押して **OFF** にする


2 水栓を開き、水栓から水が出なくなったのを確認後、水栓を閉じる

3 **OFF** 表示している状態で、 を押し続ける

ポンプが強制運転を開始します。

圧力が強制運転停止圧力値以上に上昇して、ポンプが自動停止するまで  を押し続けます。


吸上高さによっては強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。

圧力値が上昇しなくなったら、 を離してください。

型 式	運転圧力	強制運転停止圧力
CT-P150X	「標準」(工場出荷時)	約210kPa
	「高」	約250kPa
CT-P250X CT-K250X	「標準」(工場出荷時)	約250kPa
	「高」	約290kPa
CT-P400X CT-P600X	「標準」(工場出荷時)	約340kPa
	「高」	約420kPa
CT-K750X	「標準」(工場出荷時)	約340kPa
	「高」	約450kPa

※ 3 の状態(ポンプ停止)で、圧力値が低下する場合は、漏水がないか確認してください。

圧力タンク内の水を抜くときは

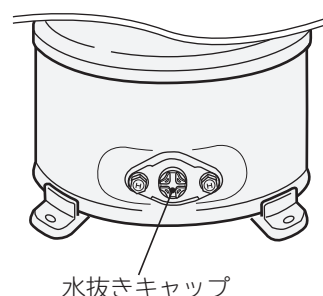
1  を押して **OFF** にする

2 電源プラグをコンセントから抜く、または、ブレーカーを切る

3 吐出側の水栓を開き、圧力を逃がす

4 水抜きキャップを外して水抜きをする

ホッパーキャップを外すと水が抜けやすくなります。



押込揚程や吸上高さが3mより浅いとき、または長時間連続運転をする場合は、圧力タンク内の空気不足を解消するために、月に一度を目安に上記手順で圧力タンク内の水を抜いてください。

消耗部品について

下表の部品は消耗部品です。交換時期の目安を参考に、部品の交換をおすすめします。

部品名	交換時期の目安	消耗部品に起こること
メカニカルシール	累積運転時間 約3,000時間	水漏れ、揚水しない、ポンプが止まらない など
パッキン	分解・点検時	水漏れ、揚水しない、ポンプが止まらない など

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、食品や動植物の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。

(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。

(ハ)火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。

(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.29)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは

出張修理

25、26ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※修理点検でポンプ以外に原因があった場合は、保証期間内でも有料になることがあります。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	浅深両用ポンプ
型 式	シーティー ピー エックス CT-P250Xなど
製 品 番 号	1000001など7桁の数字
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合は、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- 車両、船舶に搭載して使用された場合。
- 業務用使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換が必要になることがあります。

愛情点検

長年ご使用のポンプの点検を！〔2～3年に一度点検を依頼してください(有料)〕



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が作動する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- 水を使用していないのに、ポンプが運転する。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は、下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-19
携帯電話 050-3155-0119 (有料)
FAX 0120-3121-34
 (受付時間) 9:00～17:30 (月～土)
 日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
 (受付時間) 9:00～18:00 (月～土)
 9:00～17:00 (日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

URL <https://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html> または

日立家電修理

検索

「お問い合わせ」ページの「出張修理のWeb受付」ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

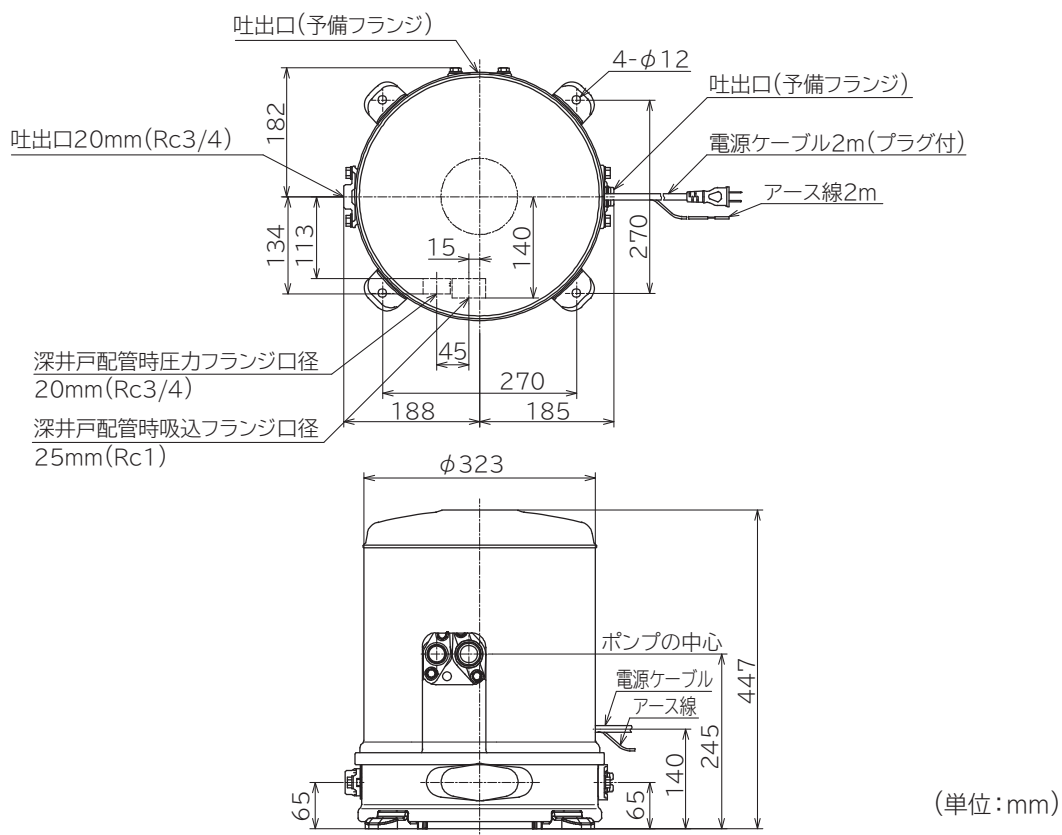
- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社へ個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様

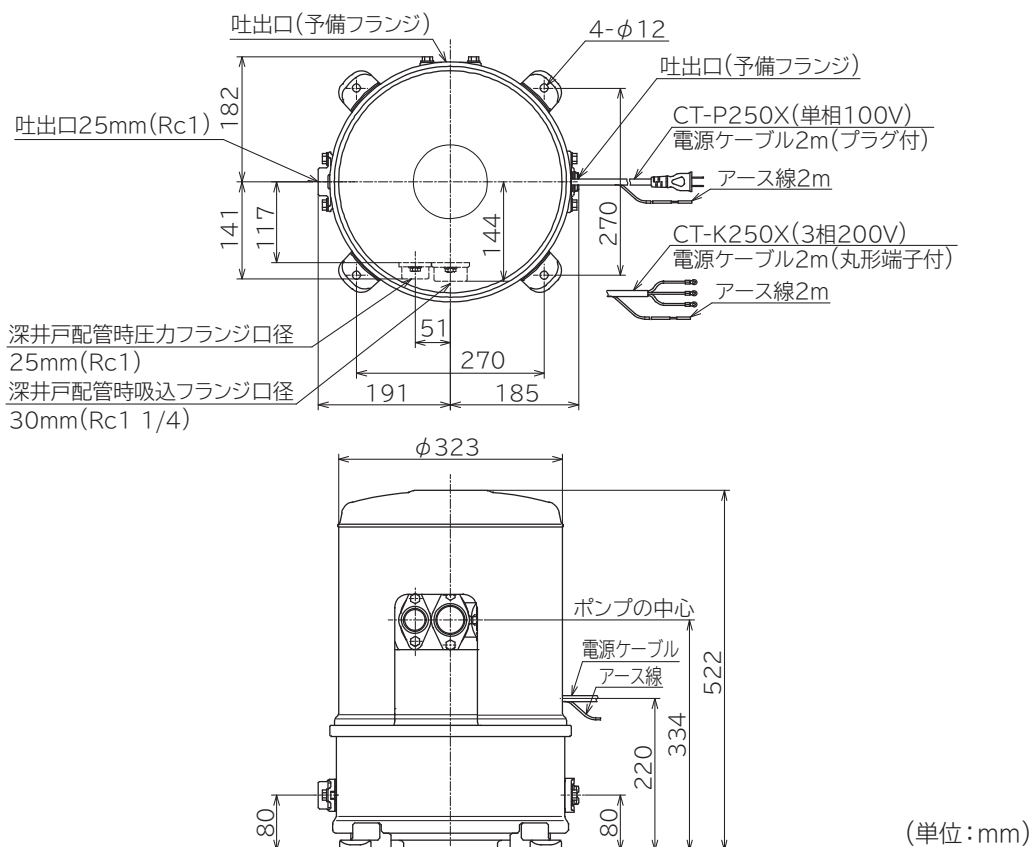
この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

製品寸法

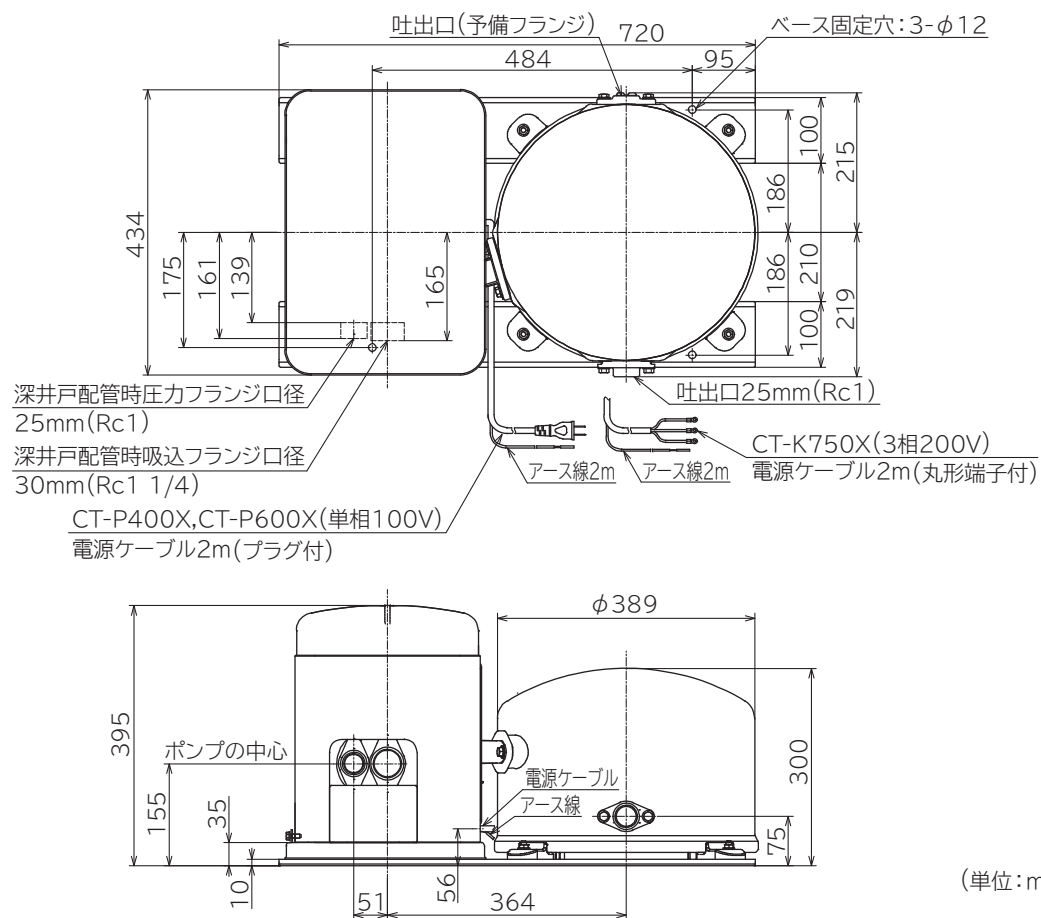
CT-P150X



CT-P250X、CT-K250X



CT-P400X、CT-P600X、CT-K750X



仕様（続き）

CT-P150X・CT-P250X・CT-K250X

型 式			CT-P150X			CT-P250X				CT-K250X				
相 ・ 定 格 電 圧			単相100V							3相200V				
モ ー タ ー 定 格 出 力			150W			250W								
定 格 消 費 電 力			390W			470W								
定 格 周 波 数			50-60Hz											
制 御 方 式			インバーター制御											
運 転 圧 力			標準		高		標準		高		標準		高	
運転モード	標 準	起動圧力	110kPa			160kPa				160kPa				
		停止圧力	170kPa	200kPa		220kPa	250kPa		220kPa	250kPa				
	圧力一定	起動圧力	120kPa			170kPa		180kPa		170kPa		180kPa		
		制御圧力	140kPa	190kPa			250kPa		190kPa		250kPa			
押上高さ	運転モード	標 準	10m			15m				15m				
		圧力一定	11m			16m				16m				
ジェット(別売品)組み合わせ			J15-7X	J15-12X	J15-12SX	J25-7X	J25-12X	J25-24X	J25-18SX	J25-7X	J25-12X	J25-24X	J25-18SX	
吸 上 高 さ			7m	12m		7m	12m	24m	18m	7m	12m	24m	18m	
揚 水 量			16.5L/分	15.5L/分	13L/分	29L/分	25L/分	11L/分		29L/分	25L/分	11L/分		
全 揚 程			16m	17m		21m	26m	38m	28m	21m	26m	38m	28m	
配 管 口 径	吸 込 管	20mm	25mm		25mm	30mm			25mm	30mm				
	圧 力 管	－	20mm		－	30mm		25m	－	30mm		25m		
	吐 出 管	20mm			25mm									
質 量			15kg			16kg								

CT-P400X・CT-P600X・CT-K750X

型 式			CT-P400X					CT-P600X					CT-K750X					
相 ・ 定 格 電 圧			単相100V										3相200V					
モ ー タ ー 定 格 出 力			400W					600W					750W					
定 格 消 費 電 力			920W					1,080W					1,280W					
定 格 周 波 数			50-60Hz															
制 御 方 式			インバーター制御															
運 転 圧 力			標準		高			標準		高			標準		高			
運転モード	標 準	起動圧力	180kPa			200kPa			180kPa			200kPa			180kPa		220kPa	
		停止圧力	240kPa			340kPa			240kPa			340kPa			240kPa		370kPa	
	圧力一定	起動圧力	200kPa					200kPa					220kPa			220kPa		
		制御圧力	240kPa		340kPa			240kPa		340kPa			260kPa		370kPa			
押上高さ	運転モード	標 準	16m		18m			16m		18m			16m		20m			
		圧力一定	18m					18m					21m					
ジェット(別売品)組み合わせ			J40-7X	J40-12X	J75-24X	J75-35X	J40-24SX	J75-7X	J75-12X	J75-24X	J75-35X	J40-24SX	J75-7X	J75-12X	J75-24X	J75-35X	J40-24SX	
吸 上 高 さ			7m	12m	24m	30m	24m	7m	12m	24m	35m	24m	7m	12m	24m	35m	24m	
揚 水 量			44L/分	39L/分	18L/分	12L/分	10L/分	50L/分	45L/分	24L/分	12L/分	10L/分	66L/分	52L/分	30L/分	15L/分	10L/分	
全 揚 程			24m	29m	41m	47m	35m	24m	29m	41m	52m	35m	27m	32m	44m	55m	35m	
配 管 口 径	吸 込 管		30mm					30mm					30mm					
	圧 力 管		－	30mm			25m	－	30mm			25m	－	30mm			25m	
	吐 出 管		25mm					25mm					25mm					
質 量			28kg					28kg					28kg					

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

ご購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日

日立グローバルライフソリューションズ株式会社